

被災地ランナーゼッケン3番「高橋一吉」さんからの手紙



この度の大会では本当にお世話になりました。

大会後4日目になりますが、少しずつ普通の生活ができるようになってまいりました。昨日(※9月23日)までは階段の上り下りが大変でした。今日は筋肉痛ではありますが、普通に下りられるまで回復いたしました。しかし、走る練習はもう少し先になりそうです。

テレビ等でも放映されているように、今回の台風で郡山市も大変な被害を受けました。川が氾濫し住宅が水没しているのを見て、ショックを受けました。私の勤務する学校もこの川の近くにあり、休校を余儀なくされました。福島にまたもや災難が降りかかってしまいました。安芸太田町では台風の影響はどうですか？

今回の大会は、未知の距離としわいコースへの不安感が走る前はもちろん、走っている最中も常にありました。しかし、被災している人たちの為に、他のランナーも頑張っていること(完走者は500円の被災地支援が出来るため)を考えたら、自分も負けてはいられないと思い、走り切ることができました。

また、町民の皆さんの応援が本当につらいときの励みになりましたし、名前と呼ばれて走ったことがほとんどないので、大変嬉しかったです。町民挙げての大会という温かい歓迎の雰囲気を感じる、素晴らしい大会だと思います。今後もこの大会がさらに盛り上がっていくことを願っています。何年後かは分かりませんが、また出場したいと思います。最後に被災地支援を掲げ、大会を支えてくださった関係者の皆様に心からありがとうと言いたいです。感謝しています。

(高橋さんは満身創痍ながら堂々の2位入賞を果たしました。)

観光協会よりしわいマラソンに関係された町民の皆様へ

今大会を通じ、再確認したことがあります。やはり安芸太田町そして町民の皆様には、来訪者の心を「癒す力」があるということです。このことこそ今後の町の観光振興にとって「非常に重要な要素」だと思います。しわいマラソンが10年後、日本を代表するロングマラソンに成長している姿を確信しつつ皆さんと共に育んでいけたらと考えています。

大会運営協力に「しわい」思いをされた町民の皆様、そして大会を支えられた実行委員会の皆様に心からお疲れさまでしたと申し上げます。

しわいマラソンの経済効果は1,000万円超(観光協会概算分析値)

- マラソン参加者…320名 ●町内への直接消費予想額…972万円
- 町内生産波及効果予想額…1,458万円 ●参加者一人当たり生産波及効果予想額…4.5万円/一人
- 一般的な日帰りの祭りでの参加者一人当たり町内生産波及効果平均額…4,700円/一人

※一般的な祭りの約10倍の経済効果が認められ、実に貢献度が大きいイベントだといえます。

安芸太田町観光協会としましては「しわいマラソン」の更なる発展を確信し、来年以降全力でサポートすることをお約束します。 理由は下記の通りです。

- ①アップダウンが大きく、厳しい道が多い「町のマイナス点」を「逆転の発想」で活かしていること
- ②標高差854メートル、厳しい山道、481段の階段など、ランナーの総合力(精神力・スタミナ・耐久力)を問う、非常に稀な大会であること(つまり「他に例があまり無い大会」であること)
- ③心温かい町民が多い町の特徴を生かし、町民とランナーの「心の距離」が非常に近い大会であること(ランナーが口々に町民の皆さんの素朴な温かさに感動したとおっしゃっていました。)
- ④町内の多くの団体や個人が地域の枠を超え一つのイベントに何らかの形で参画している「唯一」のイベントであること
- ⑤様々な大型イベントを手掛けてきた「観光協会 吉田」の(これは間違いなくホンモノだという)直感